

令和2年度における金沢大学長の業務執行状況の確認及び評価について

令和3（2021）年4月19日
金沢大学学長選考会議

金沢大学学長選考会議は、国立大学法人金沢大学学長選考規則第13条の規定に基づき、監事との連携協力のもとで令和2年度における学長の業務執行状況についての確認を実施した。

1. 確認の経過

第56回学長選考会議（令和3年3月18日（火）15時30分～17時20分開催）において、山崎光悦学長から、令和2年度における業務執行状況についてプレゼンテーションがあり、各委員による質疑応答を行った。

2. 評価の結果

令和2年度における学長の業務は、適切に執行されていると判断する。

なお、委員からの主な意見は、以下のとおりである。

- ・学長は、学内の様々な状況を熟知している。また、学術に対する社会的要請、世の中の価値観、情報に関するテクノロジーが非常に速く動いている中、十分に状況を咀嚼した上で、金沢大学に合う戦略として「YAMAZAKIプラン」を策定し、実行に向け、きめ細かな指示を行っている。
- ・同プランにより、ダイナミックにかつスピード感をもって改革に取り組み、フラッグシップ研究所の設置、高大接続をはじめとする様々な人材育成プラン、施設環境整備等、多くの成果が現れている。
- ・新型コロナ禍の教育面における緊急時の対応として、授業のオンライン化、学生諸君への経済支援等について、迅速に取り組んでいる。
- ・各改革プランの実施については、学内に評価を求めフィードバックする仕組みを検討していただきたい。
- ・若手研究者とともに特に女性研究者の育成に注力して欲しい。また執行部への女性の登用もぜひ積極的に検討願いたい。
- ・YAMAZAKIプランについて、具体的な年度計画に落とし込む際は、教育研究現場と連携を取りながら、きめ細かく実施して欲しい。

3. 評価結果の公表

業務執行状況の結果については、本学のホームページに公表し、周知を行うものとする。